

安心してインプラント治療を受けるために

最近の重要な研究から以下のことが分かっています。安心して安全なインプラント治療を受ける時の参考にして下さい。

1. 歯科インプラントの寿命について

インプラントにも寿命があります。歯科インプラント治療後 10 年で約 1 割のインプラントが失われています。

2. インプラントは入れ歯よりも患者さんの満足度が高い治療です

インプラント治療は、総入れ歯や部分入れ歯よりも“噛む”機能の回復に優れ、異物感が少なく、患者さんの満足度が高い治療法です。

3. インプラント治療前には CT 検査が有用です

インプラント埋入手術を安全に行うためには、手術前に CT 検査によってアゴの骨の形などを 3 次元的に診断しておくことが有用です。インプラント治療前に CT 検査の必要性について先生に尋ねてみましょう。

4. 患者さんの体質や健康状態によってインプラント治療を受けられない場合があります

インプラント治療には外科治療を伴いますので、患者さんの健康状態によってはインプラント治療を受けられないことがあります。患者さんから先生に相談して頂きたい代表的な病気は、心筋梗塞、狭心症、喘息、肝炎(ウイルス性を含む)、腎炎、糖尿病、骨粗鬆症、脳梗塞、関節リウマチ、金属アレルギー、うつ病、その他悪性腫瘍などです。

5. 歯周病はインプラント治療に影響します

歯周病があるとインプラント治療が失敗したり、インプラントを早期に失う可能性があります。インプラント治療を受ける前に歯周病の治療を先に行ってください。

6. インプラントを長持ちさせるには定期検診が必要です

インプラントも自分の歯と同様に日頃のセルフケア、定期検診が必要です。インプラント治療後も日常的なセルフケア、定期検診を受けることによって、インプラントを長く使うことができます。

7. インプラントも歯周病に似た病気にかかります。

インプラント治療後のセルフケアが不良であったり、定期的に検診を受けていないと、インプラントの周囲に歯周病に類似した病気であるインプラント周囲炎を発症します。放置しておくとうインプラントを撤去しなければならない場合があります。インプラント周囲炎の治療では、汚染されたインプラント表面の徹底的なクリーニングが必要です。また、インプラント周囲炎の進行状態によっては外科治療が有効な場合もあります。

8. インプラント埋入手術にともないトラブルが発生することがあります。

インプラントを埋める手術でもトラブルが発生することがあります。その代表的なものは下唇のしびれ（神経損傷による麻痺）で、回復するまでに長時間かかる場合もあります。万が一このようなトラブルが生じた場合は早期に専門的な診断・治療が必要になります。

もっと詳しく知りたい時は、主治医の先生に遠慮なく相談して下さい。

日本歯科医学会
厚生労働省委託事業「歯科保健医療情報収集等事業」
歯科インプラント治療の問題点と課題等 作業班